

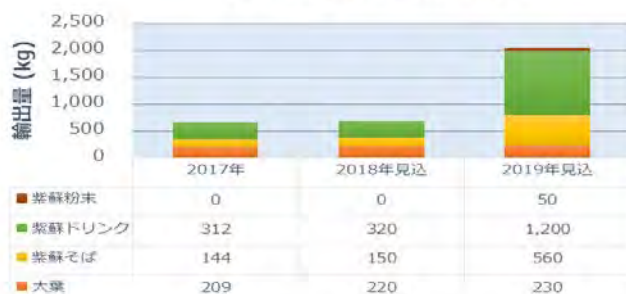
事業実施主体の概要

- 生産数量(輸出量): 665kg
- 生産している品目: 青紫蘇(生大葉)、紫蘇ドリンク、紫蘇そばなど
- 事業実施主体の構成員: 農業生産法人(有)吉川農園と、加工・販売を行う青紫蘇農場(株)で密に連携をとり、紫蘇の生産から紫蘇を使用した加工品の開発～加工・販売・輸出を行っている。
- ホームページ <https://shiso.net>

成果 (2017年→2018年)

- 有機JAS認証取得加工食品の輸出量: 665kg (2017年)
→ 690kg (2018年見込)
- 輸出金額: 1,414千円 (2017年)
→ 1,480千円 (2018年見込)

有機加工食品 輸出量推移



取組のポイント (取組期間: 2018年～)

■新たな商品開発に向けた取組

- ・世界的なオーガニック食品への関心拡大に伴い、イギリスやフランス(EU)、ミャンマーなどからの需要があり、**輸出国の基準に合わせた原材料の選定**を行い、ドリンクや麺類の加工食品、またエキスや粉末などの**加工用素材の開発**を進めている。原材料の供給増大に対応し、**有機圃場の拡大**も行った。

■EU,アジア圏への輸出に向けた取組

- ・紫蘇の加工食品・加工用素材をEU圏へ輸出するため、国内外バイヤーが集まる**商談会(FOODEXやSMTSなど)へ出展**した。新規に輸出有力なイギリスと個別打合せを行い、新商品輸出に向けて有機JAS対応、HACCP対応を進めている。



一言アピール!

熊本県(自社農園)の豊かな土壌と地下水で「紫蘇」を育てています。紫蘇の豊富な機能的成分を活かした安全・安心・美味しい製品を提供しています。紫蘇のことならお任せください!



有限会社かごしま有機生産組合（鹿児島県鹿児島市）

事業実施主体の概要

- 生産面積：有機JAS認証済み圃場面積：163ha
- 生産している品目：人参、玉ねぎ、じゃが芋、大根、さつま芋、他多数
- 事業実施主体の構成員：有限会社 かごしま有機生産組合
(代表 大和田 世志人)

成果（2017年→2018年）

- 有機JAS認証取得面積：
204ha（2017年）→ 217ha（2018年）
- 輸出金額：
0円（2017年）→ 150万円（2018年）

取組のポイント（取組期間：2018年～）

■新たな商品開発に向けた取組

オーガニックスムージの試食を行った結果、**スムージに類似した有機JAS加工品の需要が見込めたため、新たな商品展開**のきっかけになりました。

■有機農産物・加工品への輸出に向けた取組

有機農産物・加工品を輸出するため、商談を行い、輸出につなげた。商談会では、有機農産物、有機加工品を海外バイヤーと商談、引き合いの強さ感じました。上海、香港、東京で多くのバイヤーに恵まれ、香港、中国、クウェート、タイ、ドバイ、カナダで多くの反応がありました。現在も商流を含めて交渉を実施中。2018年度実績としては、**香港へ紫芋、ごぼう茶、黒糖生姜湯、クウェートにオーガニックベビーフードの輸出**を行いました。



一言アピール！

安心・安全にこだわってつくった美味しい野菜を
ぜひご賞味ください！

問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272

日置市有機・輸出茶研究会（鹿児島県日置市）

事業実施主体の概要

■ 構成員：12名

■ 活動内容：

■ 取組面積：

① 有機JAS 16ha

② ASIAGAP 90ha

① 有機栽培に適した品種への新・改植

② 有機栽培や輸出に配慮した防除体系の検討

③ 有機JAS・ASIAGAP等第三者認証の取得

④ 新たな商品開発やPR活動

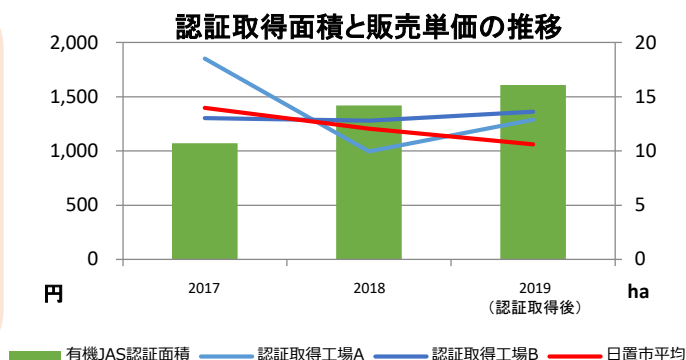
成果（2017年→2019年）

■ 有機JAS認証取得面積：

10.7ha(2017年)→16.1ha(2019年)

■ 一番茶単価：

1,314円(慣行比121%)



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■ 有機茶園の団地化

- ・ 中山間地に点在する**小規模茶園の有機団地化**により、農薬飛散リスクを低減するとともに、**天敵やフェロモン剤を活用した防除技術の実証**に取り組むことで有機茶の生産安定につなげた。

■ 新たな商品開発に向けた取組

- ・ 海外での需要が高い抹茶の販売に向け、**新たな商品「抹茶スティック」を開発**。簡便な飲用形態を提案することで、国内の消費低迷にも対応。



一言アピール！

有機栽培に取り組み、国内はもちろん海外でも飲んでもらえるお茶づくりを目指しています！

問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272